

県民の皆さまへのメッセージ

<県内の感染者数の状況>

- 県内の新型コロナウイルスの感染状況は、6月末から再拡大を始め、この1週間単位では、前週比1.5倍から2倍という急スピードで拡大しており、本日も過去最多となる963人の感染者が確認されました。

この新規感染者数を年代別に見ると、40代以下の若い世代が半数以上を占めており、全体の感染者数の増加に伴い、70代以上の感染者数も増加傾向にあることが、今後に向けての心配材料です。

<医療提供体制>

- 医療提供体制については、医療機関の方々から、コロナ患者の方々の治療への対応もさることながら、医療従事者、その家族の方々のコロナ感染に伴い、治療に当たる人材の確保が問題になってきていると伺っています。

- また、発熱外来や、無料検査センターなど、検査に関わる現場においては、感染者数の増加に伴い、検査を希望する方々で混雑するといった状況が出始めているところです。

<医療従事者への感謝>

- これまでの医療機関のご協力に関して、心から感謝を申し上げます。

医療従事者の方々には、非常に献身的に検査や治療に当たっていただきました。県としても、少しでも医療機関の負担を軽減するために努力してまいりますので、引き続きご協力をお願いします。

- 具体的には、介護付きの宿泊療養施設「やまもも」の開設、発熱外来の負担を軽減するための検査キットの配布、そういった対策の強化を考えていますので、医療従事者の方々には、引き続きご協力をお願いします。

<「県の対応の目安」の運用変更>

- 感染力は強い一方、重症化率は低いのが第7波の特色です。この状況を鑑みると、今までの「県の対応の目安」の考え方が実情に即していない面があります。したがって、「県の対応の目安」の運用の考え方や、「特別警戒」、「非常事態」というステージの判断基準、その時点での対応について、運用変更を行うこととしました。主な内容は、以下の3点です。

- 1点目は、「県の対応の目安」の運用の考え方です。感染力は強いが重症化率は低い第7波の感染状況を踏まえ、医療のひっ迫状況を適切に判断することが、指標を活用する上で最も重要であると考えています。
従来から「最大確保病床の占有率」を重視してきましたが、「直近7日間の70代以上の新規感染者数」の指標も重視していきます。
加えて、ステージの変更に当たっては、医療関係者の方々のご意見、各都道府県の状況、その背景にある国の方針、こういったものを踏まえて、総合的に判断していきます。

- 2点目は、「特別警戒」、「非常事態」ステージの判断基準です。「最大確保病床の占有率」の指標の判断基準を、40%以上は「特別警戒」ステージに、50%以上は「非常事態」ステージに変更することとします。

- 3点目は、「特別警戒」、「非常事態」ステージの対応についてです。「特別警戒」ステージにおいては、医療提供体制のひっ迫緩和に直接的に効果がある対策や、社会経済活動への影響が比較的限定的な対策を講じていくことを検討していきます。
会食・旅行・イベントなどに関する本格的な行動制限を行うことについては、病床占有率が50%以上の「非常事態」ステージに相当する段階において、検討することとします。

<県民へのお願い>

- 県民の皆さまには、引き続きコロナ感染に対して、十分警戒をいただき、「不織布マスクの着用」、「三密回避」、「十分な換気対策」、「小まめな手指消毒」など、基本的な感染防止対策の徹底をあらためてお願いします。

- 発熱や喉の痛みなどの症状のある方は、通勤・通学や外出を控えていただき、連日クラスターが発生している、高齢者施設や医療施設などの従事者の方々には、体調管理に十分に留意していただくようお願いします。
- 発熱外来の受診希望の方々が大変増えていますので、医療従事者の方々の負担軽減を考え、症状がある方に対する抗原定性検査キットのご家庭への配付について、早期に実施できるよう指示しています。
- また、無症状でも感染に不安を感じるの方々に関しては、県が設置する検査会場や、薬局などでの無料検査を積極的にご活用いただくようお願いします。
- ワクチン接種が対策の鍵となります。3回目の接種を終えられていないの方々、重症化リスクの高い60代以上の方々、18歳以上で基礎疾患を有するの方々については、4回目の速やかなワクチン接種をお願いします。

<夏休み、お盆期間中のお願い>

- 今後、夏休み、お盆期間など、人の移動が多くなる時期に入りますので、外出や他県との往来、会食の際には、あらためて基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
- 外出や旅行、帰省される際に、重症化リスクの高い高齢者や、基礎疾患を有する方と接する機会がある場合など、感染防止の必要性が特に高い場合は、「3回目のワクチン接種」又は「抗原検査などによる陰性確認」を行うことをお勧めします。
- 他県に移動する場合には、移動先の都道府県知事が出している要請に沿って行動していただき、多人数での会食など、特に感染防止の必要性が高い場合は、参加者全員の「3回目のワクチン接種」又は「抗原検査などによる陰性確認」をした上で、実施することをお勧めします。

- 8月1日から18日までの間は、高知駅前に臨時の検査センターを開設する予定としていますので、外出や旅行、帰省する際には、ぜひ活用をお願いします。

- 本日、900人を超える新規感染者が確認され、本県は、感染第7波の真っ只中にあります。そうした中で、医療従事者の方々には、大変ご負担をおかけしていますが、この負担をできる限り、そして速やかに軽減するよう、県としましても最大限の努力をしたいと思います。
県民の皆さまには、あらためて基本的な感染防止対策をしっかりと願います。自分の身の安全は自分で守ることが、第7波に関しても求められているところです。
県としても新しい対応ステージの考え方に沿って、必要な対策をしっかりと講じて行くことを約束いたしますので、引き続き、県民の皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

令和4年7月26日
高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長
(知事) 濱田省司

「県の対応の目安」運用の考え方

- 感染力は強いが重症化率の低い第7波の感染状況を踏まえ、医療のひっ迫状況を適切に判断する観点から、以下の判断指標を重視。
 - ・ 最大確保病床の占有率
 - ・ 直近7日間の70歳以上の新規感染者数
- ステージ移行の判断については、上記の判断指標に加え、県内医療関係者の意見や各都道府県等の状況を踏まえて、総合的に判断する。

「特別警戒」、「非常事態」ステージの判断基準

「最大確保病床の占有率40%～50%」 特別警戒（赤）

「最大確保病床の占有率50%以上」 非常事態（紫）

「特別警戒」、「非常事態」ステージの対応

- 「特別警戒」ステージにおいては、医療提供体制のひっ迫緩和に直接的に効果がある対策や、比較的、社会経済活動への影響が限定的な対策を検討。
- 会食、旅行、イベント等に係る本格的な行動制限については、最大確保病床の占有率50%以上（「非常事態」ステージ相当）において検討。

夏休み、お盆期間中のお願い（8/31まで）

○外出・移動について

- (1) 夏休み、お盆期間中は、人の移動が多くなる時期になりますので、今一度、不織布マスクの正しい着用、3密の回避、十分な換気対策、こまめな手指消毒をはじめとした**基本的な感染防止対策を徹底**してください。
(特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、ワクチン3回目の接種を終えられていない方)
- (2) 混雑した場所、換気の悪い場所や感染対策が十分でない施設など感染リスクが高い場所への外出は極力控えてください。
- (3) 旅行や帰省する際に、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方と接する機会がある場合など、感染防止の必要性が高い場合には、事前に「**ワクチンの3回目接種**」又は「**抗原定性検査等による陰性確認（※）**」することを推奨します。
※県内にお住まいの方は、県が設置する検査会場等で無料の検査を受けることができます。
(8月1日～18日までは、高知駅南口東側歩道に「高知県抗原定性検査センター」を開設します)
- (4) 発熱などの症状がある方や体調の悪い方は、他県との往来を控えてください。
- (5) 他県へ移動する際は、**会食時の対応を含め移動先の都道府県知事が出している要請（※）**に沿って行動してください。
※例えば、沖縄県は来訪者に対して、「ワクチンの3回目接種」又は「抗原定性検査等による陰性確認」を呼びかけています。

○会食について

- (1) 会食時においても、**基本的な感染防止対策を徹底**してください。
- (2) 会話が主となる時間帯には、できる限りマスクの着用を励行するなど、飛沫感染の防止に努めてください。特に、飲酒の場などでの「献杯・返杯」や「大声での会話」、「マスクを外してのカラオケ」など、感染リスクの高い行動は、控えるようお願いいたします。
- (3) **可能な範囲で規模を縮小し、可能な範囲で時間を短縮**いただくようお願いいたします。
- (4) 多人数での会食など、感染防止の必要性が高い場合には、参加者全員について、「**3回目のワクチン接種歴の確認**」又は「**抗原定性検査（※）による陰性確認**」をした上で、実施することを推奨します。
※県内にお住まいの方は、県が設置する検査会場等で無料の検査を受けることができます。
- (5) **飲食店を利用**する際は、できる限り「**高知家あんしん会食推進の店**」の認証店を利用していただくようお願いいたします。

○旅行や帰省で高知県に来訪する方についても、上記にご留意ください。

※県外にお住まいの方は、お住まいの都道府県で無料の「抗原定性検査等」を受けることができます。

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（1/3）

「感染症対応の目安」におけるステージ：警戒（オレンジ）（令和4年7月26日時点）

7月26日からのおお願い（8月31日まで）

○県民の皆さまへ

- (1) 不織布マスクの正しい着用（別紙「屋外・屋内でのマスク着用について」、「子どものマスク着用について」を参照）、3密の回避、十分な換気対策、こまめな手指消毒をはじめとした**基本的な感染防止対策を徹底**してください（特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、**ワクチン未接種の方**）。
- (2) **家庭内では**、部屋の換気、共有部分の消毒、タオルや食器の共用を避けるなど、**感染防止対策の徹底**をお願いします。特に**重症化リスクの高い方々と同居している家庭**では、**家庭内においても会話の際などには、マスクの着用**をお願いします。
- (3) 接触確認アプリ「COCOA」をインストールしましょう。
- (4) 感染者やその家族、医療従事者等に対し、誹謗中傷や差別的な行為を行わないようにしてください。
- (5) 発熱、喉の痛みなどの**症状のある方は、検査協力医療機関での受診**をお願いします（行政検査として無料）。また、**無症状でもご不安のある方は、県が設置する検査会場や薬局等で無料検査**を受けることができます。
- (6) ワクチンの3回目接種により、発症や重症化を防ぐ効果が回復するとされています。メーカーにこだわることなく、できるだけ**早期に3回目のワクチン接種**をお願いします。

現在、県内では3回目の接種率が低い若い世代を中心とした感染が続いています。**若い世代の方々**は積極的に3回目のワクチン接種をお願いします。

感染時の重症化予防を目的とした**ワクチンの4回目接種**について、対象となる**60歳以上の方や18歳以上で基礎疾患を有する方等**は、速やかなワクチン接種をお願いします。

○事業者の皆さまへ

- (1) 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策（特に、従業員のマスク着用）を徹底していただくようお願いします。
- (2) 室内の十分な換気、こまめな手指消毒、共有部分の消毒など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
- (3) 在宅勤務（テレワーク）や時差出勤等、人との接触機会を低減する取組を推進していただくようお願いします。
- (4) 医療機関や高齢者施設においては、感染防止対策の徹底・レベルアップをお願いします。

1 会食について

- (1) 会食時においても、不織布マスクの正しい着用、3密の回避、十分な換気対策、こまめな手指消毒をはじめとした**基本的な感染防止対策を徹底**してください。
- (2) **可能な範囲で規模を縮小し、可能な範囲で時間を短縮**いただくようお願いします。
- (3) 会話が主となる時間帯には、できる限りマスクの着用を励行するなど、飛沫感染の防止に努めてください。
- (4) 多人数での会食など、感染防止の必要性が高い場合には、参加者全員について、「**3回目のワクチン接種歴の確認**」又は「**抗原定性検査（※）による陰性確認**」をした上で、実施することを推奨します。**※県内にお住まいの方は、県が設置する検査会場等で無料の検査を受けることができます。（8月1日～18日までは、高知駅南口東側歩道に「高知県抗原定性検査センター」を開設します）**
- (5) **飲食店を利用**する際は、できる限り「**高知家あんしん会食推進の店**」の認証店を利用していただくようお願いします。
- (6) 特に、飲酒の場などでの「**献杯・返杯**」や「**大声での会話**」、「**マスクを外してのカラオケ**」など、感染リスクの高い行動は、控えるようお願いします。

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（2 / 3）

「感染症対応の目安」におけるステージ：警戒（オレンジ）（令和4年7月26日時点）

7月26日からのお願い（8月31日まで）

2 外出・移動について

- （1）外出の際には、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
- （2）**混雑した場所、換気の悪い場所や感染対策が十分でない施設など感染リスクが高い場所への外出は極力控えてください。**
- （3）特に、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方と接する機会がある場合など、感染防止の必要性が高い場合には、事前に「**ワクチンの3回目接種**」又は「**抗原定性検査等による陰性確認（※）**」することを推奨します。
※**県内にお住まいの方は、県が設置する検査会場等で無料の検査を受けることができます。**
（8月1日～18日までは、高知駅南口東側歩道に「高知県抗原定性検査センター」を開設します）
- （4）発熱などの症状がある方や体調の悪い方は、他県との往来を控えてください。
- （5）他県へ移動する際は、**会食時の対応を含め移動先の都道府県知事が出している要請（※）に沿って行動してください。**
※例えば、沖縄県は旅行等の来訪者に対して、「**ワクチンの3回目接種**」又は「**抗原定性検査等による陰性確認**」を呼びかけています。

3 イベント等について

開催にあたっては、以下の点に注意したうえで、業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底してください。

- （1）参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催については、県へイベント開催の2週間前までに「感染防止安全計画」を提出してください。
「感染防止安全計画」を策定し、県による確認を受けたイベントは、人数上限は収容定員までかつ収容率の上限を100%とします。※「大声なし」が前提
- （2）（1）以外のイベントの人数上限は、5,000人又は収容定員50%以内のいずれか大きい方とします。
収容率は、「大声なし」のイベント等は100%、「大声あり（注）」のイベント等は50%とします。
※収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度（両方の条件を満たす必要）
感染防止策等を記載した「チェックリスト」を作成してホームページ等で公表し、イベント終了日から1年間保管してください（県への提出は不要です）。
（注）大声を「観客等が通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとします。

4 高齢者が入院・入所している施設について

- （1）利用者及び従事者に対するワクチン追加接種を速やかに実施してください。
- （2）マスク着用、送迎時の窓開け、発熱した従事者の休暇等、「**介護現場における感染対策の手引き**」に基づく対応を徹底してください。
- （3）**従事者からの感染を防ぐ**ため、従事者の方は、日頃から基本的な感染防止対策を徹底するとともに、**体調管理に留意**してください。
- （4）**面会者からの感染を防ぐ**ため、**オンラインによる面会の実施**も含めて対応を検討してください。
- （5）通所施設においては、動線の分離など、感染対策を更に徹底してください。

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（3 / 3）

「感染症対応の目安」におけるステージ：警戒（オレンジ）（令和4年7月26日時点）

7月26日からのおお願い（8月31日まで）

5 乳幼児施設について

- （1）できるだけ少人数のグループに分割するなど、感染を広げない保育を実践してください。
- （2）保護者が参加する行事の延期等を含めて、十分な感染対策が取れない場合は、大人数での行事は控えるようお願いします。
- （3）発熱等の症状がある児童の登園は控えていただくよう徹底してください。
- （4）**発熱等の症状がある職員の休暇取得**の徹底や、職員に対する早期のワクチンの追加接種等を行ってください。

6 学校・部活動について

- （1）咳や咽頭痛、発熱等の症状が少しでも現れた場合には、速やかに医療機関を受診してください。
- （2）熱中症のリスクが高いことが想定される登下校時や体育の授業及び運動部活動等においては、マスクの着用は必要ありません。
ただし、マスクを外す際は、周囲の者と十分な距離を取る・換気を徹底するなど感染症対策を講じてください。
- （3）特に、次の感染対策の徹底をお願いいたします。
 - ・食事の場面では黙食を徹底し、食事の後に会話をする際にはマスクを着用してください。
 - ・更衣室での会話を控えるようお願いします。

県立学校の部活動について

- （1）活動時間は、平日は2時間程度、週休日等は3時間程度とします。
ただし、1ヶ月以内に公式戦・発表会等の出場が決まっている部活動については、校長が認めた場合、平日は3時間程度、週休日等は4時間程度とします。
- （2）県内外校との練習試合等は、校長の判断により認めます。
ただし、自校及び相手校の感染状況を十分に考慮した上で判断することとします。

屋外・屋内でのマスク着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**
- 屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



【屋外】

距離が確保できる

距離が確保できない

マスク必要なし

マスク着用推奨

会話を
する



マスク必要なし

マスク必要なし

会話を
ほとんど
行わない



公園での散歩やランニング、サイクリングなど

徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

【屋内】

距離が確保できる

距離が確保できない

マスク着用推奨

マスク着用推奨

会話を
する



会話を
ほとんど
行わない

マスク必要なし

マスク着用推奨



通勤ラッシュ時や人混みの中
ではマスクを着用しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。



夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクに
関するQ&A



子どものマスク着用について

人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。



就学児について

（小学校から高校段階）

マスク着用の必要がない場面

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
 - ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞離れて行う運動や移動、
鬼ごっこなど密にならない外遊び
- ＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

屋内

- ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習



学校生活

屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際
※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう
※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について

2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



気をつける
ポイント

- ▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
 - ▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
- ※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。



医療提供体制の状況について

1. 県内の状況

＜病床占有率＞

※入院者数、重症者数、中等症者数はのべ人数

	6/20～6/26	6/27～7/3	7/4～7/10	7/11～7/17	7/18～7/24
新規感染者数	715	817	1,322	2,239	3,814
入院者数	254	214	252	392	560
（重症者数）	4	7	7	1	8
（中等症者数）	15	9	13	50	86
病床占有率	11.3%	9.7%	11.3%	17.6%	25.1%
（重症用）	2.4%	4.2%	4.2%	0.6%	4.6%

＜医療機関発熱外来＞

◇検査医療機関数：247 箇所（7/12 時点）

	6/20～6/26	6/27～7/3	7/4～7/10	7/11～7/17	7/18～7/24
検査件数	4,643	4,864	4,936	5,484	7,847
陽性者数	702	805	1,312	2,214	3,742
PCR 陽性率	15.1%	16.6%	26.6%	40.4%	47.7%

＜PCR 等無料検査センター＞

◇検査拠点数：170 箇所（7/26 時点）

	6/20～6/26	6/27～7/3	7/4～7/10	7/11～7/17	7/18～7/24
検査件数	1,998	1,785	2,338	4,045	4,584
陽性者数	34	26	45	124	216
陽性率	1.7%	1.5%	1.9%	3.1%	4.7%

2. 今後の対応

○介護付き宿泊療養施設「やまもも」の開設

〔設置期間〕 8月5日（金）の設置に向けて準備中

〔病床数〕 16室（32床）

〔対象者〕 治療を終えた要介護の入院患者

無症状から中等症Ⅰまでの間の陽性者で要介護等で宿泊療養施設の対象外となる患者（主に高齢者）

抗ウイルス薬療法（飲み薬）対象者 など

○有症状者に対する抗原定性検査キットの配布

※実施に向けて調整中

○無料検査センター体制の強化 ※詳細は別紙

お盆期間中の帰省や旅行等による検査件数の増加を考慮して、8月1日から18日の間、JR高知駅南口東側歩道にて「高知県臨時抗原定性検査センター」を新たに設置。

お盆期間中の無料検査体制について

お盆期間中の帰省や旅行等を通じた感染拡大を防止するため、JR高知駅前新たに臨時拠点を設置し検査体制を強化（県内全検査拠点：170箇所）

1. 高知県内で受けられる無料検査について

① 社会経済活動（飲食、イベント、旅行、帰省等）を目的とした検査

対象者：旅行、飲食、イベント、帰省等の活動に際して「陰性の結果」を確認する必要がある無症状の方

※原則として抗原定性検査で実施

（高知県外在住者も対象）

② 感染不安による検査

対象者：高知県内在住で感染に不安のある無症状の方

※「高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安」における判断指標のステージが、「注意（黄）」以下になった時点で終了予定

2. 高知県内の検査拠点について

① 県内の主要な駅・空港

JR高知駅

高知龍馬空港

新 高知県臨時抗原定性検査センター

期間：8月1日（月）～8月18日（木）

開設時間：8:30～17:00

場所：JR高知駅南口東側歩道

お問合せ：高知県臨時PCR等検査センター相談窓口
(088-821-6679)

※受けられるのは抗原定性検査のみとなります

※事前予約は不要です



※写真は、GW時のものです。

木下グループ新型コロナ検査センター

※お盆期間毎日検査対応しています

営業時間：9:00～13:00、15:00～19:00

場所：高知龍馬空港2階出発ロビー前

※PCR検査又は抗原定性検査が受けられます

※事前のweb予約が必要です

② 高知市中心街

高知県臨時PCR等検査センター

※お盆期間毎日検査対応しています

開設時間：10:30～18:30

場所：高知市本町3-1-4アイランドビルⅡ1階

お問合せ：高知県臨時PCR等検査センター相談窓口
(088-821-6679)

※PCR検査又は抗原定性検査が受けられます

※事前予約は不要です



③ 県内全域

地域の登録事業者（157箇所）

※各事業者によってお盆期間中の検査可能日時が異なります。高知県HP等で検査可能日時をご確認ください。

お問合せ：高知県ワクチン・検査パッケージ相談センター（088-872-3450）

※検査を受けに行く際は、必ず店舗へ

事前連絡のうえご来店ください

※ 上記の他、飲食店等において、会食等で陰性の検査結果を確認する必要がある無症状の方を対象に抗原定性検査を実施（10箇所）

ノババックス社ワクチンについて

○ワクチンの特徴

新型コロナウイルスの表面にあるタンパク質の設計図をもとに作られた「組換えタンパクワクチン」であり、B型肝炎ウイルスワクチンなど、既に使用された実績あり。

○接種対象

初回接種（1・2回目）：12歳以上(7/22から対象拡大)、追加接種（3回目）：18歳以上

○効果

オミクロン株が流行する前のデータで、臨床試験を通じて約90%の発症予防効果を確認。

オミクロン株に対しても、接種により中和抗体値が上昇したとの報告あり。

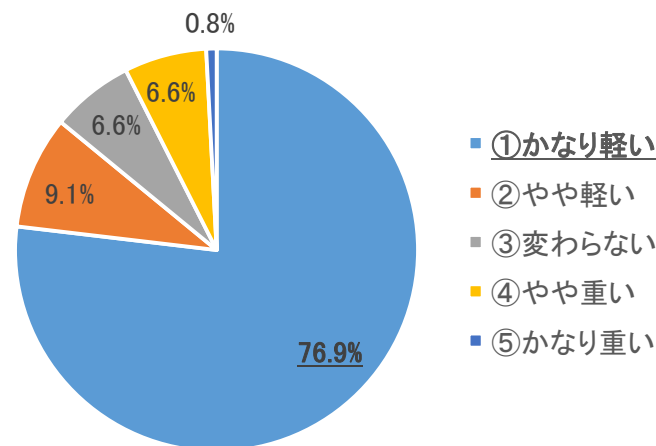
○副反応

高知県が募集して実施した接種の接種者に対するアンケートを実施。

<結果(回答者170人)>

- ・接種回数にかかわらず、約6割の方に副反応あり。
- ・接種部の痛み、倦怠感、発熱、頭痛などが主な症状だが、80%の方が3日以内に軽快。
- ・そのうち3回目接種者(121人)は1・2回目と比較して86%の方が副反応は軽いとの感想。

3回目接種でノババックスに変更した方の感想
(R4. 7. 14~20高知県アンケート結果 n:121)



⇒個人差はあるものの、副反応等が心配な方は、このアンケート結果も参考に接種を検討いただきたい。